

## 政策5 「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」は、健康が日々の豊かな生活のみなもとであることから、一人ひとりが生涯にわたって質の高い生活を送れるよう、ふだんの健康づくりや病気の予防、個々人の状態に応じた健康の増進・維持を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策5の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は43.0%、低認知度群は57.1%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性(45.8%)が男性(40.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(59.8%)が65歳未満(37.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域(49.0%)が、回答者全体と比較して6.0ポイント高い。

石巻圏域(36.5%)が、回答者全体と比較して6.5ポイント低い。

(%)

政策5 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.8	38.2	43.0	47.7	9.4	57.1	100.0

性別	男性	3.7	36.4	40.1	49.9	10.1	60.0	100.0
	女性	5.7	40.1	45.8	45.9	8.3	54.2	100.0
年齢別	65歳未満	3.4	33.9	37.3	52.1	10.6	62.7	100.0
	65歳以上	8.7	51.1	59.8	35.4	4.8	40.2	100.0

圏域別	仙台	4.2	36.7	40.9	47.0	12.1	59.1	100.0
	仙南	4.3	35.2	39.5	52.2	8.3	60.5	100.0
	大崎	5.3	37.9	43.2	46.7	10.1	56.8	100.0
	栗原	5.4	43.6	49.0	41.7	9.3	51.0	100.0
	登米	8.7	37.0	45.7	47.5	6.8	54.3	100.0
	石巻	2.8	33.7	36.5	53.0	10.5	63.5	100.0
	気仙沼・本吉	2.9	42.3	45.2	46.5	8.3	54.8	100.0

有効回答者数 1,618 名

## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は57.1%、低認知度群は42.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)が42.9ポイント、大崎圏域(68.0%)が10.9ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域(44.5%)が12.6ポイント、登米圏域(45.5%)が11.6ポイント、石巻圏域(52.1%)が5.0ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は54.7%、低認知度群は45.3%である。

(%)

政策5 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	7.4	49.7	57.1	39.5	3.4	42.9	100.0	
圏 域 別	仙台	8.0	46.9	54.9	38.1	7.1	45.2	100.0
	仙南	9.3	35.2	44.5	53.7	1.9	55.6	100.0
	大崎	9.3	58.7	68.0	29.3	2.7	32.0	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	9.1	36.4	45.5	54.5	0.0	54.5	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	47.8	0.0	47.8	100.0
	気山沼・本吉	0.0	58.3	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0

有効回答者数 324 名

学識者等全体	6.3	48.4	54.7	37.5	7.8	45.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 64 名

## 2. 政策5の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は89.9%、低関心度群は10.1%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(92.2%)が男性(87.4%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(96.0%)が65歳未満(87.8%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策5 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	42.3	47.6	89.9	9.0	1.1	10.1	100.0

性別	男性	41.7	45.7	87.4	11.2	1.3	12.5	100.0
	女性	42.9	49.3	92.2	7.0	0.8	7.8	100.0
年齢別	65歳未満	35.7	52.1	87.8	11.0	1.2	12.2	100.0
	65歳以上	61.4	34.6	96.0	3.3	0.7	4.0	100.0

圏域別	仙台	45.0	46.3	91.3	7.8	0.9	8.7	100.0
	仙南	42.1	49.8	91.9	6.8	1.3	8.1	100.0
	大崎	41.0	47.9	88.9	9.4	1.7	11.1	100.0
	栗原	45.9	45.5	91.4	7.9	0.8	8.7	100.0
	登米	43.2	45.4	88.6	11.0	0.4	11.4	100.0
	石巻	35.3	52.9	88.2	11.2	0.5	11.7	100.0
	気山沼・本吉	41.4	47.0	88.4	10.0	1.6	11.6	100.0

有効回答者数 1,663 名

## 1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は88.9%、低関心度群は11.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（100.0%）では、回答者全体と比較して11.1ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（82.6%）では6.3ポイント、登米圏域（83.3%）では5.6ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は88.2%、低関心度群は11.8%である。

(%)

政策5 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	34.4	54.5	88.9	10.2	0.9	11.1	100.0	
圏 域 別	仙台	28.0	59.3	87.3	11.0	1.7	12.7	100.0
	仙南	35.7	57.1	92.8	7.1	0.0	7.1	100.0
	大崎	39.5	51.3	90.8	7.9	1.3	9.2	100.0
	栗原	57.1	42.9	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	33.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	34.8	47.8	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気山沼・本吉	35.1	54.1	89.2	10.8	0.0	10.8	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	42.6	45.6	88.2	10.3	1.5	11.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

### 3. 政策5の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より36.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より34.2%と推定できる。

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.7	(91.3)
満足度 60点未満の割合		49.8
要検討領域にある回答者全体の割合		41.1

有効回答者数；重視度 1,661人、満足度 1,639人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	1661	1639
	欠損値	60	82
平均値		77.57	55.23
平均値の標準誤差		.379	.437
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.441	17.677
分散		238.417	312.478
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.3	(93.7)
満足度 60点未満の割合		42.5
要検討領域にある回答者全体の割合		36.2

有効回答者数；重視度 335人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	335	332
	欠損値	3	6
平均値		77.13	57.33
平均値の標準誤差		.800	.806
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.646	14.689
分散		214.518	215.758
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.4	(89.6)
満足度 60点未満の割合		44.6
要検討領域にある回答者全体の割合		34.2

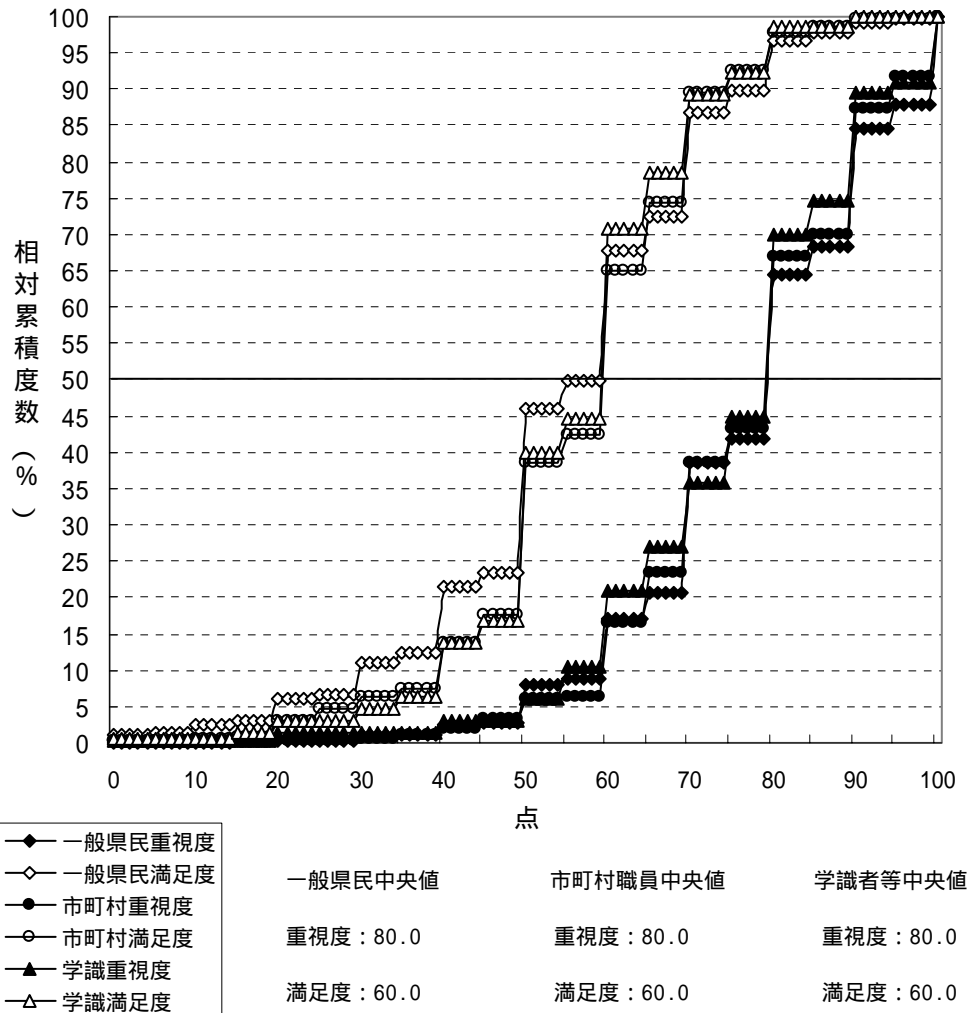
有効回答者数；重視度 67人、満足度 65人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	67	65
	欠損値	2	4
平均値		75.90	56.92
平均値の標準誤差		1.896	1.722
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.519	13.883
分散		240.853	192.728
範囲		80	75
最小値		20	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	75.00	52.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

「政策5 生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」



### 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性(60.0点)が男性(50.0点)よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性(30.0点)が女性(20.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(12.5点)が女性(10.0点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性44.0%、女性37.8%と推定できる。

#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0

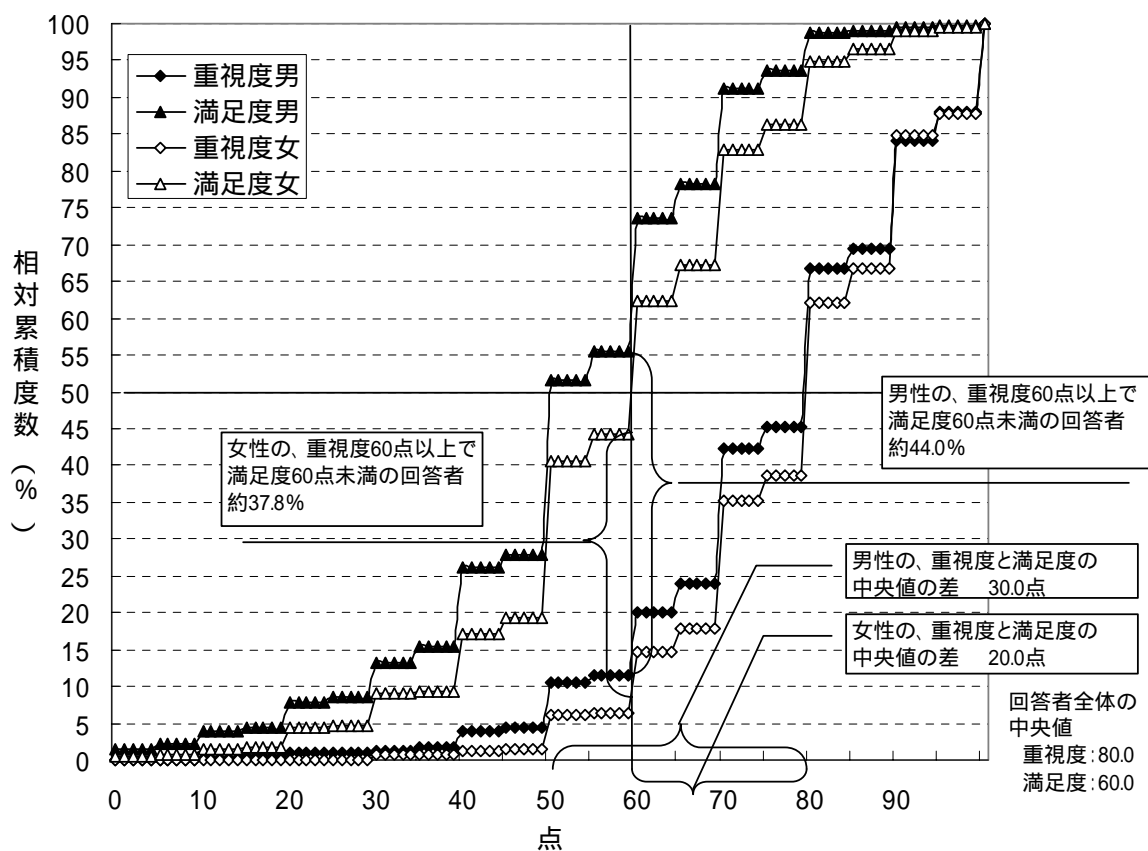
#### 要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4 (88.6)	6.4 (93.6)
満足度60点未満の割合	55.4	44.2
要検討領域にある回答者全体の割合	44.0	37.8



政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	780	772
	欠損値	23	31
平均値		76.23	52.43
平均値の標準誤差		.596	.637
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.639	17.705
分散		276.853	313.451
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	861	848
	欠損値	35	48
平均値		78.81	57.92
平均値の標準誤差		.486	.591
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.271	17.204
分散		203.668	295.987
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

### 3 2 - 2 65歳年齢区分別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（55.0点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（25.0点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満42.3%、65歳以上36.9%と推定できる。

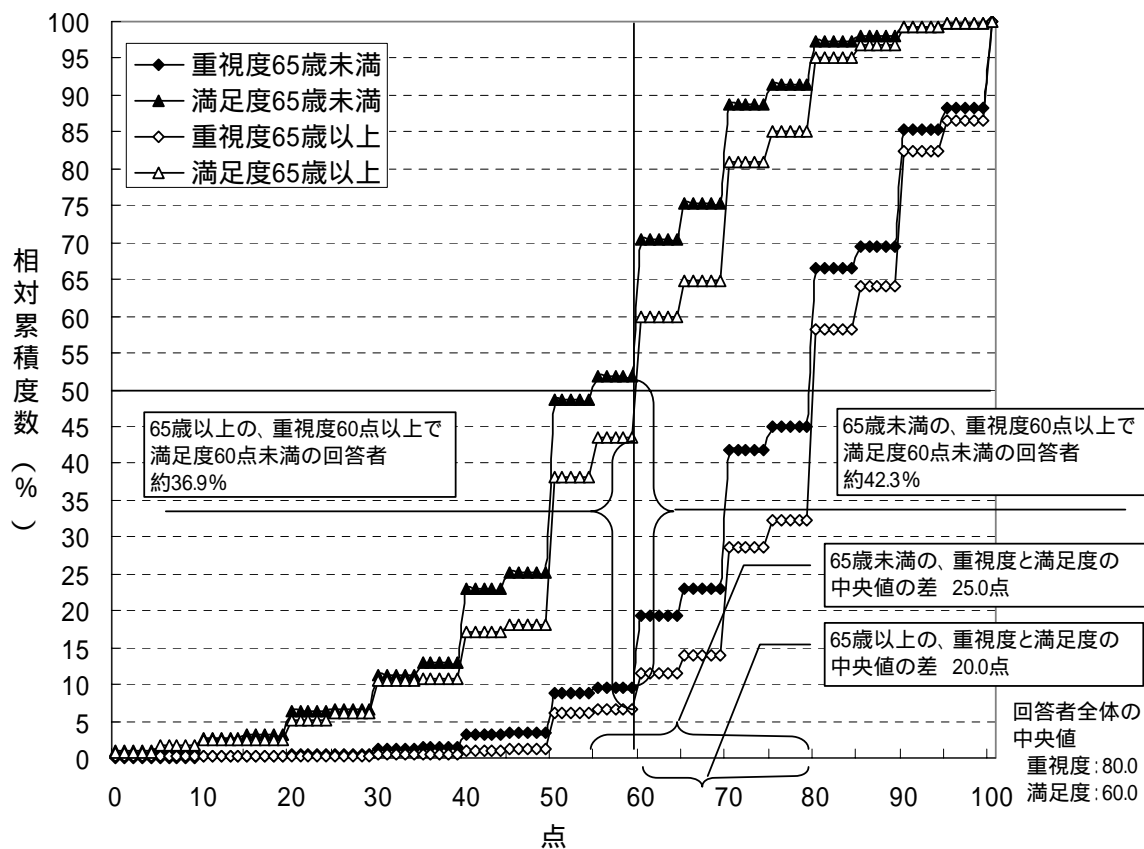
#### 中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	9.5 (90.5)	6.7 (93.3)
満足度60点未満の割合	51.8	43.6
要検討領域にある回答者全体の割合	42.3	36.9

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	1209	1198
	欠損値	31	42
平均値		76.60	54.29
平均値の標準誤差		.457	.502
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.894	17.385
分散		252.623	302.253
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	430	420
	欠損値	27	37
平均値		80.35	58.07
平均値の標準誤差		.671	.880
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.918	18.035
分散		193.701	325.269
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	63.00
	75	90.00	70.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、仙台圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント低く、仙南圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、栗原圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0点)が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(85.0点)が5ポイント高い。

満足度の中央値は、登米圏域(65.0点)が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、登米圏域(14.4点)、仙台圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)の4圏域が回答者全体(10.0点)より大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(17.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(8.8点)、仙台圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)、仙南圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	45.0	50.0	46.3	50.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	23.8	20.0	15.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	11.9	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	57.5	60.0	60.0	65.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	22.5	20.0	30.0	20.0	25.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	75.0	66.3	65.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	52.5	30.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	15.0	13.8	35.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	60.0	70.0	70.0	70.0	65.0	62.5
	かい離	20.0	25.0	30.0	20.0	20.0	25.0	25.0	27.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	7.5	14.4	12.5	15.0
	満足度	10.0	7.5	5.0	10.0	5.0	8.8	17.5	6.3

#### 4. 政策 5 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「生活習慣病の早期発見と予防」(44.2%) である。

第 2 位は施策 1 「健康づくりに関する意識の向上」(34.2%) である。

第 3 位は施策 6 「地域リハビリテーションサービスの提供」(10.8%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「健康づくりに関する意識の向上」(43.2%) である。

第 2 位は施策 2 「生活習慣病の早期発見と予防」(40.2%) である。

第 3 位は施策 6 「地域リハビリテーションサービスの提供」(8.6%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「健康づくりに関する意識の向上」(35.3%) と施策 2 「生活習慣病の早期発見と予防」(35.3%) である(施策 1 と施策 2 が共に第 1 位になっている)。

第 3 位は施策 6 「地域リハビリテーションサービスの提供」(16.2%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分毎の各施策の優先度は、65 歳未満 65 歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、

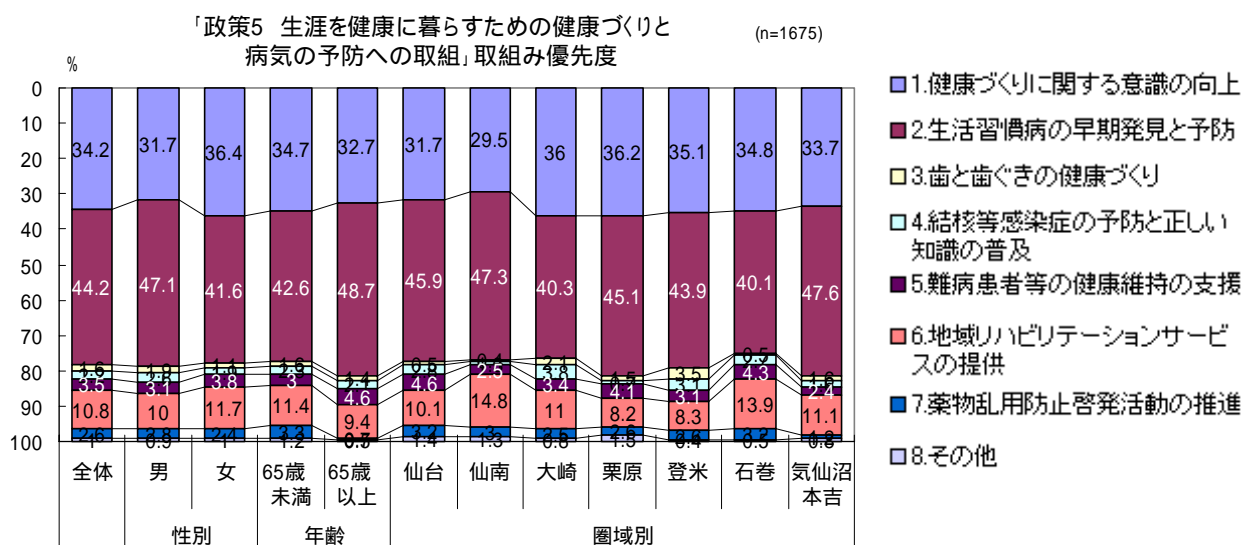
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「健康づくりに関する意識の向上」、栗原、登米、石巻の 3 圏域では施策 2 「生活習慣病の早期発見と予防」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2 「生活習慣病の早期発見と予防」、栗原、登米、石巻の 3 圏域では施策 1 「健康づくりに関する意識の向上」である。

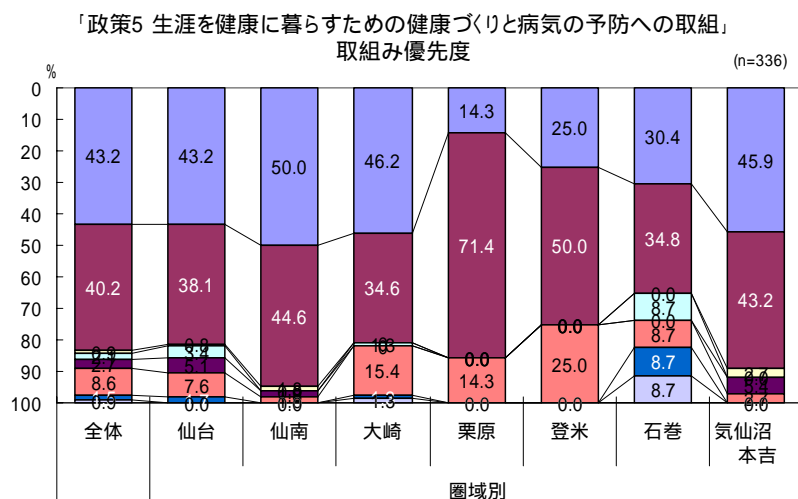
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 6 「地域リハビリテーションサービスの提供」、仙南、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「難病患者等の健康維持の支援」、仙南圏域では施策 3 「歯と歯ぐきの健康づくり」、石巻圏域では施策 4 「結核等感染症の予防と正しい知識の普及」である（仙南圏域では施策 3 と施策 5 と施策 6 が共に第 3 位になっている）

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

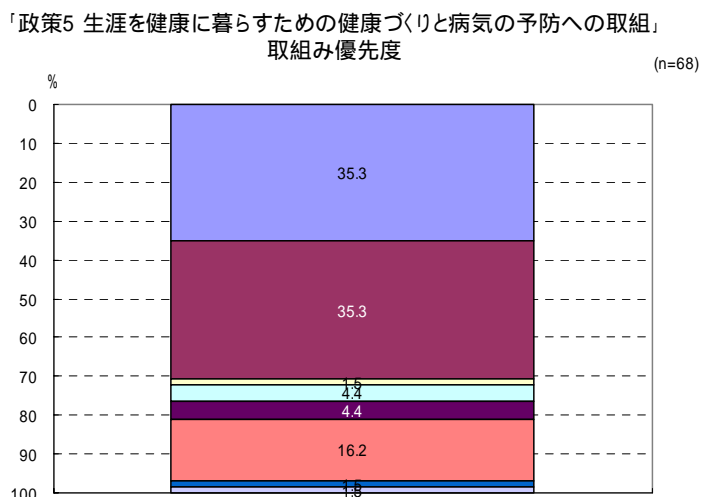
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】





政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.健康づくりに関する意識の向上	34.2	31.7	36.4	34.7	32.7	31.7	29.5	36.0	36.2	35.1	34.8	33.7
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	44.2	47.1	41.6	42.6	48.7	45.9	47.3	40.3	45.1	43.9	40.1	47.6
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	1.6	1.9	1.1	1.6	1.4	0.5	0.4	2.1	1.5	3.5	0.5	1.6
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	2.2	2.6	1.9	2.3	2.1	2.8	1.3	3.8	0.7	3.1	2.7	1.6
5	5.難病患者等の健康維持の支援	3.5	3.1	3.8	3.0	4.6	4.6	2.5	3.4	4.1	3.1	4.3	2.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	10.8	10.0	11.7	11.4	9.4	10.1	14.8	11.0	8.2	8.3	13.9	11.1
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	2.6	2.8	2.4	3.3	0.7	3.2	3.0	2.5	2.6	2.6	3.2	1.2
8	8.その他	1.0	0.9	1.0	1.2	0.5	1.4	1.3	0.8	1.5	0.4	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.健康づくりに関する意識の向上	43.2	43.2	50.0	46.2	14.3	25.0	30.4	45.9
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	40.2	38.1	44.6	34.6	71.4	50.0	34.8	43.2
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	0.9	0.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	2.1	3.4	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
5	5.難病患者等の健康維持の支援	2.7	5.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	8.6	7.6	1.8	15.4	14.3	25.0	8.7	2.7
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	1.5	1.7	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
8	8.その他	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.健康づくりに関する意識の向上	35.3
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	35.3
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	1.5
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	4.4
5	5.難病患者等の健康維持の支援	4.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	16.2
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	1.5
8	8.その他	1.5

政策 5 「生涯を健康に暮らすための  
健康づくりと病気の予防への取組」